



誠友会
よしだ
吉田 尚徳
ひさのり

都市計画税について

問 都市計画税をめぐる市民の不満について、どのように受け止めているかお伺いいたします。

答 合併地域に都市計画税を課税するようになって、3年目を迎えております。今年度は問い合わせも減少しているため、概ね課税に対するご理解はいただいているものと思っております。

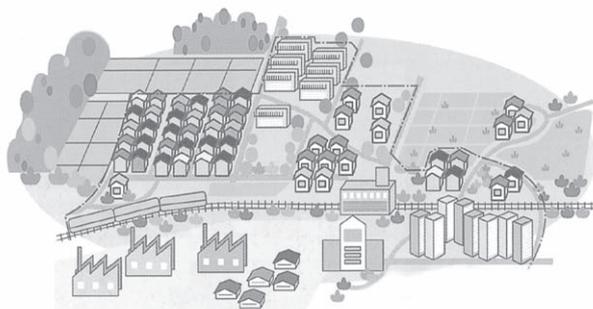
問 広島県の見直しを受けて、都市計画税の課税対象、用途地域の見直しをする予定はあるか、また、その時期はいつかお伺いいたします。

答 広島県において、本年度から因島都市計画区域と瀬戸田都市計画区域の統合を含めた両区域の範囲の設定について検討を行い、約2カ年をかけた、都市計画区域の整備、開発及び保全の方針を決定する予定と聞いております。この方針を参考にするとともに、本年度より、広島県の都市計画区域の変更時期との調整を図りながら、用途地域の見直しのための作業を進めてまいります。

と考えています。また、因島と瀬戸田の都市計画区域が統合された場合には、市内には三つの都市計画区域が指定されることとなります。広島県が定める、それぞれの区域の整備、開発及び保全の方針を踏まえ、必要に応じて検討してまいります。

問 旧向島町・旧瀬戸田町・旧御調町の都市計画税は現在どのようになっているか、不平等感が生じていないかお伺いいたします。

答 旧向島町は市街化区域へ、旧瀬戸田町は用途地域へ課税しております。旧御調町については市街化区域等の指定がありませんので、課税はしておりません。



福祉・教育問題について



新風クラブ
ふじもと
藤本 友行
ともゆき

問 人口問題について、尾道の「生産人口」が50%を切る年は、何年後の平成何年ですか。

答 生産人口が50%を切る年は5年後の平成29年と推定されます。

問 平成23年度に生まれた子どもは986人で毎年約17人減少し結婚件数は593組で離婚件数は248組、子どもを生み育てにくい環境がありますか。

答 ワーク・ライフ・バランスの実現を目指すなど事業推進に努めていきます。

問 福祉問題について、社会保障費の「世代間格差」はあると考えられますか。

答 国の制度により運用している事業が多くあり、予算の差になっています。

問 社会保障費の世代間格差を見直す一つの手法として(仮)「高齢者から孫への贈り物事業」についてどう考えますか。

世代間社会保障費等比較表

生産世代 (20才～64才) 77,341人	高齢世代 (65才以上～) 43,964人	若年世代 (0才～19才) 23,543人(未来の力)
国の社会保障費	約181万円/人	約18万円/人
尾道の社会保障費	約113,000円/人	約47,000円/人
会への補助金	1,000万円(老人クラブ)	200万円(子ども会)
祝金等	約4,000万円(75才以上)	0円
バス優待乗車費等	約2億5,000万円(73才以上)	0円

答 今後も市の事業の見直しを積極的に進めながら必要な事業を検討します。

問 尾道の独自予算で少人数学級を考えていますか。

答 市独自の予算で、学習支援講師等を配置し、子どもたちの状況を把握しながら指導の充実に努めていきます。

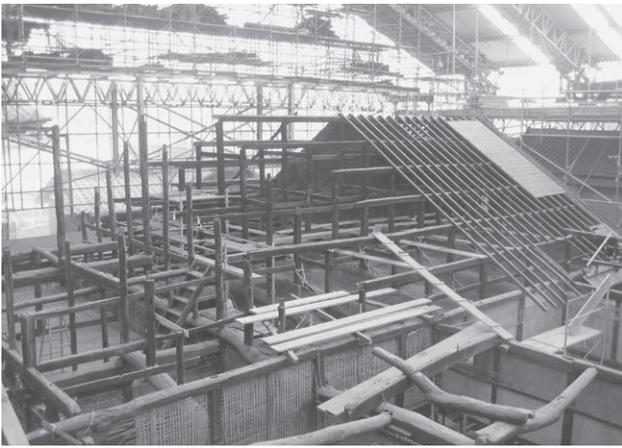


市民連合
やまもと
山戸 重治 しげはる

歴史的風致維持向上計画について

問 「歴史的風致維持向上計画」における具体的事業や総事業費、今年度の主な事業についてお聞きします。

答 今年度から10年間で30事業を計画し、文化財保存修理や道路美装化、老朽危険家屋の除去費用補助事業など総額20億円を見込み、今年度は本通りや渡場線などの道路美装化、老朽危険家屋除去や空き家再生、歴史的建造物の外観修理の補助等を予定しています。



浄土寺(庫裏及び客殿)の保存修理

県道福山尾道線整備事業について

問 県道福山尾道線のこれまでの工事費や進捗状況についてお聞きします。

答 主要地方道福山尾道線までの三成下橋から国道184号までの三成工区は、平成22年度の工事費が8300万円、平成23年度は1億3900万円、今年度の予算額は7300万円です。進捗率は30%になる予定です。

北部4小学校の統合について

問 木頃、木ノ庄西、木ノ庄東、原田の北部4小学校の木ノ庄東小学校への統合は慎重に進めるべきと思いますが、どうしても統合が必要であれば、地域や保護者の理解を得て、美木中学校の北側に新しい小学校を建て、統合する方法が良いと思いますが、どう考えますか。

答 北部4小学校のうち既に3小学校で複式学級が生じており、平成25年3月を目途としている原田中学校の美木中学校への統合後に速やかに協議に入りたいと考えているところです。また、美木中学校北側の土地を取得して小学校を新設する提案はこれまでも検討しましたが、現時点では既存施設(木ノ庄東小)を有効活用することが望ましいと考えています。



尾道倶楽部
にった
新田 賢慈 けんじ

少子化対策について

問 少子化の一因として仕事と子育てを両立できる環境整備の遅れがあると思いますが、働く女性の雇用についての取り組みと対策についてお伺いします。

答 尾道市男女共同参画プランに仕事と生活の調和を実現する目標を立て、意識啓発を図るとともに、育児休業などの各種制度の普及・定着や、育児しやすい職業形態の導入など、女性の育児休業後の復帰が可能となるよう職場の理解と協力を働きかけていきます。また、保育施設の充実等により、働く女性にとって出産と育児、就業が安心して行えるよう取り組んでいきます。

問 子どもの数が少ない理由として、子育て費用・教育費の負担や育児の心理的・肉体的負担の重さや子どもの育つ社会環境の問題とされていますが、子育てに対する負担感の増大についての取り組みと対策についてお伺いします。

答 後期の次世代育成支援行動計画を策定し、保健・医療体制の整備、経済的支援等の推進をしています。

す。また、「子育てと仕事を両立できる環境づくり」という目標達成のため、就労支援サービスの充実とワーク・ライフ・バランスの意義等の意識啓発に努めています。

問 若年失業者やフリーターの増大など若者が社会的に自立することが難しい社会経済状況ですが、若者の雇用不安についての取り組みと対策についてお伺いします。

答 市内企業への雇用促進のため、企業合同説明会等の開催や企業誘致、市内企業に対する新設高等学校卒業予定者の採用拡大の要請といった取り組みをしています。今後もこうした取り組みを継続するとともに、新しい事業展開の支援や安定的な企業経営の支援により地域経済の安定化と雇用の確保を図っていきます。





公明党
あらかわ
京子
きょうこ

まちづくりについて

問 高齢化社会に突入している尾道のコンパクトシティ化への転換が必要と考えますが、市長の見解をお伺いします。

答 コンパクトシティの考え方は、将来にわたり持続可能なまちづくりを実現する一つの手法と考えます。

問 などを併設した商店街の複合住宅化についての見解はいかがですか。

答 複合住宅化は、商店街での買い物や地域に居住していない家族や友人との交流が進むなど、中心市街地にぎわいの創出に繋がると考えます。

防災・減災について

問 東日本大震災以降、防災対策に女性の視点が重要で、参画を求める声が強い、市の防災会議委員の女性の人数は、また今後の登用はいかがですか。

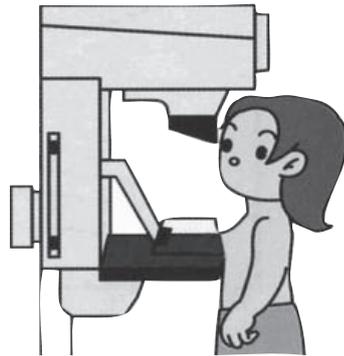
答 防災会議委員は39名で構成され、女性は1名で、女性の視点を盛り込んだ防災対策を盛り込み、地域防災計画の修正を行いました。

今後、女性委員の登用に向けて検討します。

がん対策について

問 がん対策には予防と早期発見が大事、そのためのがん検診が重要であり、無料クーポン未使用、一度も検診を受けない方への受診勧奨が必要だと思いますが、いかがですか。

答 今年度、広島県との連携・支援を強化する重点市として指定を受け、個別受診勧奨事業を積極的に進めます。



マンモグラフィ機器（乳房X線撮影装置）による乳がん検診

問 子宮頸がんワクチンは中学1年から無料接種が可能、検診は20歳から受診となり、予防DVD配布も含み、がん教育が必要と思いますが、いかがですか。

答 予防のためのDVDの学校への紹介、身近な人ががん検診等を勧める手紙を書くという県の「愛の健康便り」事業に参加する予定です。



Withおのみの声
このみや
二宮
仁
ひとし

観光案内のIT化・上屋倉庫整備 備めた低床バスの導入率は？

問 大型画面で便利なタッチパネル方式の観光案内装置を韓国・釜山市で見かけたが、多言語対応に迫られている尾道観光の観光案内のIT化方針はどのように進んでいるか、伺います。

答 スマートフォンやパソコン等からインターネットに無料で接続し、観光情報も閲覧できる「おのみちわいわいスポット」事業を今年度から実施します。また観光パンフレットの電子ブック化も進めており、SHIMAPやおのナビなど多言語に対応したインターネット上の観光情報へ誘導したいと考えております。

問 平成19年の「みなとオアシス尾道」仮登録記念シンポジウムでも「尾道レトロ、日本文化などに重きを置く、手作りの尾道をいかにつくるかが課題」等とまとめられたが、整備中の県営上屋2号倉庫の活用策及び現況、また事前の話し合いは市民と十分にされたかどうか、伺います。

答 国・県・地元団体の意見を聞き、魅力あるみなとまちづくりとして

取りまとめ、整備主体の広島県に要望し、内容について協議してきました。上屋倉庫周辺の工事は海フェスタ開催前に完成する予定と聞いています。上屋倉庫は事業者の公募を行っており、地元事業者への参画に配慮した活用とすることとしております。

問 障害者・高齢者福祉に関するバス交通政策、特に低床バスの路線運行はどのような状況ですか。

答 市内路線を走る低床バスの導入率は、おのみちバスが37%、中国バスが8%であり、車両更新時は低床バスを導入すると伺っています。またおのみちバスは事前に電話すると希望する路線の希望する時間帯に低床バスを運行する事前予約制を導入したため、時刻表の低床バスの表示をなくしたと伺っています。



整備中の県営上屋2号倉庫



日本共産党
おかの ながとし
岡野 長寿

国保料の値上げ計画は撤回すべき

問 国保料を市民1人当たり平均1万円もの値上げを提案されようとしています。介護保険料や後期高齢者医療保険料の値上げの時期に重なっており、想定外の国からの2億1000万円の交付金や12億5700万円の地域福祉基金の一部を使って、値上げ計画を撤回すべきではありませんか。

答 国保会計は独立採算で経理されるので医療費が伸びればそれに見合った保険料の負担が必要。国からの2億1600万円のうち、約8000万円を療養給付費に充当し、残り約1億3600万円を財政調整基金に積み立て(基金は合計4億4200万円となる)今後の安定的な国保財政運営のため有効に活用します。

尾道大橋の無料化、しまなみ海道市民割引を

問 尾道大橋は25年度度から無料になります。延伸道路で新たに料金を徴収されると新高山に車が流れ込み大変なことになります。市としてどう対応しますか。

また、しまなみ海道は休日・通勤割引が継続されることになりましたが、これは観光者でも同じで、市民に適用される市民割引制度をつくるべきではありませんか。

答 延伸道路の無料化については、市、市議会、経済界が一体となつて、関係機関に対して要望してきました。県においても3月に国に対して要望していただきました。

しまなみ海道の料金については、平成26年3月末まで割引制度が延長され、さらに、平成26年度以降はNEXCOの料金水準を参考に全国共通料金の導入をめざすという国の方針が打ち出されたところであり、本市としても全力で取り組んでまいります。

しまなみ海道沿線地図

合併経過

平成17年3月28日
尾道市・御調町・向島町合併

平成18年1月10日
尾道市・因島市・瀬戸田町合併

委員会行政視察報告

● 議会運営委員会(山戸重治委員長)
では、静岡県富士市議会の「一般・特別会計決算特別委員会の事業評価」、神奈川県横須賀市議会の「予算・決算常任委員会による予算・決算審査」について行政視察を行いました。

《議会運営委員会行政視察》



訪問都市 神奈川県横須賀市



訪問都市 静岡県富士市

● 文教委員会(杉原孝一郎委員長)では、東京都板橋区の「フイードバック学習方式」、東京都荒川区の「学校パークアップ事業」学校図書館の整備」「荒川区の学校給食」について行政視察を行いました。

《文教委員会行政視察》



訪問都市 東京都荒川区



訪問都市 東京都板橋区